

8208 西脇俊輔の建築事務所へ電話が通じたのは・・・

西脇俊輔の建築事務所へ電話が通じたのは結局、七時半近くになっていた。

「ヨーコです。まだお工作中？」

「おお！ どうした。」

「元気にしています。今夜、忙しくなかったら、食事しない？」

「いいよ。で、おまえまた、亭主と喧嘩でもしたのか？」

「どういたしまして。そんな時ばかり、電話するわけじゃないわ。」

「まあ、いいだろう。八時に、おつな寿しで待っていてくれよ。」そう言うと彼は電話を切った。

森 瑤子『情事』

[許容訳例]

It was already near seven-thirty when I got Shunsuke Nishiwaki's designing office on the telephone.

"This is Yoko. Are you still working?"

"Yoko! How are things?"

"I'm fine, thank you. How about having dinner together this evening if you're not busy?"

"Ok. But did you quarrel with your husband again?"

"Not at all. I don't call you up only in such cases."

"All right, I'll believe you. Be at eight in Otuna-zushi, will you?" he said, and rang off.

[翻訳例]

In the end it was nearly seven-thirty by the time I got through to Nishiwaki Shunsuke's design office.

"This is Yoko. Are you still working?"

"Hi. What's up?"

"I'm doing fine. How about having dinner together this evening if you're not busy?"

"Say—have you quarreled with your husband again?"

"Why should I? I don't only call you at times like that."

"OK, OK. Be in Otuna-zushi at eight, will you?" And he rang off.

■西脇俊輔の建築事務所へ電話が通じたのは結局、七時半近くになっていた。(8208)

★「西脇俊輔の建築事務所」は Nishiwaki shunsuke's architect[design(ing)] office です、なお、辞書では「設計事務所」とも出ています。

★「～に電話が通じた」は I got ~ on the telephone でもいいですが、もっと簡単に I got through to ~ と言えば、on the telephone の意味が含まれます。

★「結局」は、ここでは「その前に何回か電話したけど通じなかったという前提」があっ

たと思われるので In the end として文の先頭に置くといいでしょう。

★「七時半近く」は already near seven-thirty とか nearly seven-thirty とかでしよう。

● [のは]

「・・・したのは～になっていた」の「～」に時間が来るので It was ~ when…ですが、when の代わりに by the time とか before も使えると思います。

■ ヨーコです。(8208)

★「ヨーコです」は This is Yoko. とか Yoko, here. です。なお、This is Yoko speaking. とする必要はありません。この場合の speaking は、たとえば、Is that[this] Yoko speaking? (ヨーコさんですか?) と尋ねられて「はいそうです」((This is Yoko) speaking.) と答えるような場合に使うもので、日本語では「しうです」の意味です。

■ まだお仕事中?(8208)

★「まだお仕事中?」は Are you still working? です。辞書には「仕事中」の意味で at work が出ていますが、これには二つの意味があります。一つは「作業中」です。たとえば、The builders are at work. (工事中) のように使います。もう一つは「仕事に出ている; 会社に行っている」という意味です。したがって、I'm at work now, so I'll call you later. は「いま手がふさがっているので、後で電話する」です。要するに、具体的に何かしていることになります。ここの「仕事中?」は具体的に何か作業をしていることを知っていてまだ終わらないのと聞いているわけではないので Are you still at work? という状況ではないと思われます。

■ 「おお!(8208)

★「おお!」はイギリス人なら Hello! でしょうし、アメリカ人なら Hi! でしょう。Oh! でもいいのですが、イントネーションによっていろいろ違ってくる言葉ですから、文章では避けた方がいいでしょう。

■ どうした。」(8208)

★ここの「どうした?」は、しばらく電話をかけてこなかったのに突然かけて来たので、男のほう「何か(問題でも)起きたのか」と聞いたような状況が想定できるので、日本語の「どうした?」よりちょっと強いかもしれませんが。この場合、“What's up?” が日本語に一番近い表現と思われます。“How are you?” はおかしいです。また、「どうしている?」という感じで、辞書には“How is it going?” が出ていますが、この言い方は、何か特定のとか計画などをさして言う場合に使うものです。この場合のように「どうしているの」という意味には How is it going with you? としなければなりません。ただ、その意味に一番いいのは How are things? です。

■ 「元気にしています(8208).

★「元気にしています」は I'm fine か I'm doing fine. です。“I'm fine. Thank you.” は“How are you?” に対する返答です。

■ 今夜、忙しくなかったら、食事しない?(8208)

★「今夜」は this evening です。代わりに tonight も使えます。スペインなどともなレストランは夜は 10 時以降でないと食事ができません。イギリスでも 10 時過ぎにレストランが混んでいます。で、tonight も使えます。

★「忙しくなかったら」は if you're not busy です。ただ、if you are not busy とは決して言わないと言っていいでしょう。you're です。

★「食事しない？」は How[What] about having dinner together?です。なお、このような場合、“Let's have dinner…”とか、アメリカ人がよく使う“Why don't we have dinner…”は使えません。これらの表現は相手がその場にいてすぐに了解しやすい状態にある時に使う表現です。

■いいよ。(8208)

★「いいよ」は、ここでは積極的に了解しているようなのです。Ok.とか Fine.とか Good idea.とか Say とか、人によっていろいろな言い方をするでしょう。ただ All right は、必ずしも喜んでいるとは限りません。どちらかというところと少々了解という場合もありますから、ここでは使わない方がいいです。Ok.もイントネーションによってはその感じになることがあります。

■で、おまえまた、亭主と喧嘩でもしたのか？」(8208)

● [で]

この [で] は、前の「いいよ」を受けて「いいけど・・・」と考えると but ですし、短い間(ま)の代わりと考えるとダッシュでいいです。

★「また」は、副詞としては again です。名詞に付けるなら another です。

★「亭主と喧嘩する」は quarrel with your husband です。have a fight with your husband としてもいいでしょう。辞書の中には「喧嘩する」の中に make a scene を加えているものもありますが、これは、たとえば、She made a scene in a restaurant because her cup was dirty. というように、特に人前で騒ぎ立てるという状況に使うもので、ここでは使えません。

★「(喧嘩)でも」に相当する言葉を入れるとすると、文の終わりに or something を入れることになりますが、ここでは強いて入れる必要はないと思います。

◆現在完了について

「また、亭主と喧嘩でもしたのか」

まず「亭主と喧嘩したか」はアメリカ人なら Did you quarrel with your husband?ですが、イギリス人なら Have you quarreled with your husband?と完了形を使うと思います。アメリカでは子供たちに現実の時間と動詞の関係を覚えさせるとき I do it every day./ I'm doing it now./ I did it yesterday./ I have done it many times.と教えます。アメリカの子供たちは現在完了を「経験」の表現として覚えるのです。しかし、完了形というのは、元は何らかの感情を込めるための主観的表現の一種です。イギリス英語にはそれが今でも残っています。たとえば、イギリスの新聞などでは、過去の事実とわかっている場合にも

A gifted medical student has been killed standing on the rim of a volcano which exploded "like an atomic bomb".

Julian Green, 21, died in the arms of his fellow adventurer Gordon Cole, who was....

なんということだ、前途有望な医学生が死んだ。火山の縁に立っているとき火山が噴火し、まるで原子爆弾のようだったのだ。

ジュリアン・グリーン 21 歳は、冒険仲間のゴードン・コールの腕の中で死んだ・・・。

のように使います。これは The Times の第一面の記事ですが、このような書き方はアメリカの新聞では見かけません。感情表現としてアメリカでも見られるのは “Where did you go?” に感情を込めて、 “Where have you been?”. と言うくらいです。

★「亭主と喧嘩したのか」ですが、元の日本語は「亭主と喧嘩したか？」ではなく「亭主と喧嘩したのか？」です。この「のか？」は「・・・したわけかい [したの难道] ?」というニュアンスだろうと思われます。このニュアンスを英語で出すためには Have you quarreled with your husband, then? とすれば表すことができます。この then は、具体的に言うと Does that mean that you have quarreled with your husband again? という意味を含むわけです。

■「どういたしまして。(8208)

★「どういたしまして」は難しい。『表現解説最新日米口語辞典』（朝日出版社）では「どういたしまして」を三つに分けて解説しています。①お礼を言われたとき You're welcome./ Don't mention it. 「たいしたことではありません」という意味で Not at all./ It's nothing. ②謝られたとき That's all right./ It's nothing. ③ほめられたとき Thank you. の三つです。ここは、これらのどれにもあたりません。よく喧嘩をすることを知られていて、それを言われたので答えをちょっとそらすような感じで、それでいて強く否定を含ませている場合です。That's not your business. (余計なお世話よ) は強すぎます。このような場面で英語でよく使うのは Why should I (do anything like that)? でしょう。Not at all. は場面によってさまざまな訳語が与えられています。「かまいません・全然・とんでもない・いいえ・どうぞ」など。ここでも使えそうですが、Not at all は程度を表す表現で、たとえば、 “Were you angry?” “Not at all.” のように使うもので、このように喧嘩をしたかどうかというような単純な事実に対する答えなので使えません。

■「そんな時ばかり、電話するわけじゃないわ。」(8208)

★「そんな時」は at times like that ですが、ここでは「そんな場合」とも言えるので in such cases でもいいでしょう。

◆only の位置

★「ばかり」は only で表すことができますが、only は本来動詞の前に置くべきところを離して文章の main word の前に置くこともできるわけで、その場合、非常に紛らわしくなるので、会話の場合イントネーションによって違いを表すか、文章なら強調するところをイ

タリックスにするか、あるいは別の形にしてしまうかしかないのです。たとえば、I only met him yesterday.という文はイントネーションによって、Only I met him yesterday.とか、I only met him yesterday. I didn't hit him.またはI met only him yesterday. I didn't meet anybody else.あるいはI met him only yesterday. I didn't meet him the day before.というような意味のすべてに使えるわけです。他にも「会ったばかり」という意味でも使います。したがって、会話では別の言い方をして、たとえば、Only I met him yesterday.の意味でI was the only one that met him yesterday.あるいはI met only him yesterday.の代わりにHe was the only one that I met yesterday.などと言います。ですから、ここでI didn't only call you at times like that.というのはI didn't call you only at times like that.という意味で使っているわけです。

■「まあ、いいだろう。(8208)

★「まあ、いいだろう」も難しい。ここは「まあ、そういうことにしておこう」という感じなので“I suppose not.”なども使えますが、“OK, OK.”とか“(Well, then.) I (will) believe you.”でもいいでしょう。なお、このwillは「即断のwill」です。

■八時に、おつな寿しで待っていてくれよ。(8208)

★「八時に」はat eightであり「おつな寿しで」はin Otuna-Zushiで、順序はどちらでもいいですが、「場+時」が基本です。at eight in Otuna-Zushiです。

★「待っていてくれ」ですが、「待ってくれ」ではなく「待っていて」ですから、普通はWait at eight in…ではなくBe at eight in…です。

★「(・・・で待っていて) くれよ」は(Be at eight in…), will you?です。

■そう言うと彼は電話を切った。(8208)

★「そう言うと」は「そう言って」とほぼ同じですからSo saying, …でもいいし、he said…でもいいし、いったん文章を切ってAnd…でもいいでしょう。

★「彼は電話を切った」はhe rang off.でしょう。なお、アメリカ英語ではhe hung up (the phone)です。